

古御旅所ふるおたびしよ〔八条坊門金替町はちじょうぼうもんかねかへの南にあり。むかし此所は二階堂觀世音ふくしいなとみましくて、地主を福子稲豊いなとみといふ。今此觀音

は泉涌寺せんゆうじの内善能寺ぜんのうじにあり。此社の鳥居通を戒光寺町かいくわうじといふ。此寺も今泉涌寺せんゆうじの内にあり、丈六の釈迦仏を安置す〕柴

守長もりのちやうじや者〔弘法大師縁起こうぼうだいしに曰、空海筑紫くわいかいつくしにましますとき、稲を荷へる翁に逢てこれ只人ならずと思ひ、君はいかなる人

ぞと尋ね給へば、われは都八条に住ける柴守長しばもりちやうじや者といふものなりと答ふ。空海くわいかい我も都に登り仏法を弘侍るなり、我法を

守り給へと約し。其後弘仁十四年に東寺を賜り任職したまふとき、二階堂の柴守長しばもりちやうじや者まゐりたりと申されければ、空海くわいかい

いろくもてなし、扱都の巽にすぐれたる山あり、あれに住給ひて我が仏法を守護し給へと、社をいとなみ自額を書いて

まいらせ給ひける今の稲荷山これなり。二階堂を則御旅所たびしよとし給ふなり〕